

## 1. ボール運動ってムズすぎひん?!

まず、何を教えたいのかがはっきりしていないので、授業を考えようにも考えられませんでした…

泣きついた先は、研究部・北河内ブロックのみなさん。特に安武先生には、2回授業を見に来てもらいました。

毎回、「これでいいのか?」と不安になりながら、安武先生の「できてるで。」の言葉に助けられ、研究部のみなさんのアドバイスをもとに、なんとかここまでやってこれました。

でも、まだまだわからないことだらけなので、ご指導よろしくお願ひします!!

## 2. 子どもたちの実態

- ・3年生(男子12名・女子14名 うち支援児童1名) 全校生徒が840名ほど・駅近くで、比較的裕福
- ・3年生は4クラス(107名)・・・3年生の始業式でも、初めて出会うクラスメイトが3割くらいいる
- ・人数が多いからか、つながりが希薄のように感じる
- ・1学期から、毎日の授業の中で話し合い活動(簡単な意見交流など)を多く取り入れた。週1回の係活動では、自分たちでクラスみんなが楽しめることを考え、企画・準備し、休み時間などを使って実行してきた。
- ・体育のマット・鉄棒・とび箱では、グループ学習に取り組み、見せ合い・アドバイス・コツ見つけができるようになってきた。グループ全員ができるようになって喜んだり、発明技のアイデアを楽しそうに出し合ったりする姿が見られるようになってきた。それから、周りを見て、困っている子に話しかけたり、自然と班の友だちと話し合ったりする姿が増えてきた。友達と関わることで得られる新たな発見を楽しめる子が増えてきた。
- ・運動能力差は大きい。しかし、時間をかけて、丁寧に教えればできると感じる。
- ・ボール運動に関しては2年生でも取り組んでいたが、攻守の切り替えが分かっていない子が2~3名。初めは、攻める方向が分かっていない子が4割ほどいた。しかし、サッカーを習っている子が数名いて、その子たちがなんとなくグループ学習を引っ張って、空間を見つけたり、守りのコツを教えたりして、少しずつ全体の技能が向上した。

## 3. タッチボールを選んだ理由・ルール

<理由>

- ・支援児童がいるので、簡単なルールで参加できるものに
- ・運動能力差が大きいので、ドリブルやシュート(的当て)などの技能獲得をしなくてもできるものに
- ・2人からできるので、必ずボールを触れて全員参加できるように

<ルール>

- ・コートなし ・じゃんけんで攻め(ボール)を決める ・タッチされたら、止まってパスする
- ・トライされたら、相手ボールになって、すぐにスタート

追加されたルール…試合に出ていない人が、審判をする(タッチ・トライのどちらが速かったか)

支援児童のキャッチ・パスはじゃましてはいけない。

マットを1まい→2まいへ

#### 4. 単元目標・計画

##### <目標・ねらい>

☆トライする楽しさを味わう …勝ち負けにこだわる子が少ないと感じる。

☆攻防の切り替えが分かる …理解しているのか怪しい。

(試しのゲームで、チームは2人しかいないのに、1人が攻めて、1人はマットを守っていた)

☆攻めてボールを持っていない人の動きが分かる

…相手マットの近くで、相手からはなれた所がトライしやすいと分かる

日かげと日なたがわかる(これは難しい…)

☆守り…よくわかっていません…1対1でマークすることがわかる?

##### <指導計画>

○試しのゲームをしてみて感じた事は2つ。1つは、トライする楽しさ・喜びを感じている子が少ないと感じること。もう1つは、役割分担をハッキリさせるグループが多かったこと。(1人は攻め、1人は守り)

→攻めの姿勢を作ること、トライの楽しさを知ることが最優先

→通り抜けゲーム(後述)をして、攻める姿勢・空間を見つける重要さを実感させる。

○トライするまでの戦術を見つける楽しさを感じられる子が多いと思うので、時空間認識・攻めの動きを見つける学習を先に設定した。

○試しのゲームのふり返りでも、守り方について書いている子も多かったので、攻めがある程度できたら、守りの学習をして、また攻め方を考えさせて…というのが、子どもたちの思考に合っているのではないかと思う。

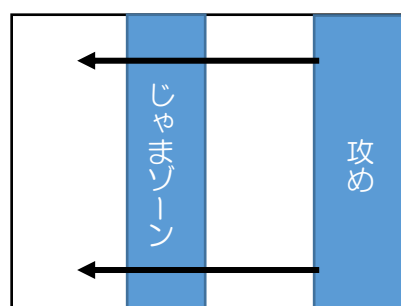
…と考えていたのですが、思ったよりも、攻めの学習に時間がかかってしまいました…

日付	時	内容	ねらい
9/15	1	試しのゲーム(2対2)	ルールがわかる。
9/22	2	試しのゲーム(2対2)	自分たちに合わせて、ルールを考えることができる。 ※ルール追加(審判)
9/26 ~ 10/26		9/22のビデオを見て、攻めと守りの動きを確認する。 (運動会練習メインだった為)	・ボール保持者を追いかけて続けるのか? →自分のマットの近くを守ればよい →攻め・守りに、無駄な走りがなくなる…ハズ。
10/27	3	通り抜けゲーム(2対1)	・攻めの姿勢をつくる。 ・トライの楽しさを知る。 ・ボールを持ったら、相手マットへ向かうことがわかる。 ・空間を見つけ、通り抜けることができる。
10/31	4	2対1	・攻める時の動きを理解する。 ボール保持者→マットへ向かう ボール非保持者→相手マットの近く (5つの選択肢を試してみる) ※攻めなのに守っている状態からの脱却!

11/10	5	2対1	(攻め) ボール非保持者の動き <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手マットの近く</li> <li>・相手からはなれた所 (日なた)</li> <li>…2対1 だとうまくトライできるが…</li> <li>…試合では2対2なのでうまくいかない</li> <li>次回は、2対2でもうまくできるコツを!</li> </ul>
11/17	6	2対2	(攻め) ボール非保持者の動きの習熟 ※マット2枚 <ul style="list-style-type: none"> <li>・日なたへ動くことがわかる</li> <li>・どんなパスが有効かわかる (バウンド)</li> <li>・パスをつないで、日なたへ移動 (作り出す)</li> </ul>
11/24	7	2対2	(攻め) ボール保持者・非保持者の動きの確認 <ul style="list-style-type: none"> <li>・パスをくり返してトライへ近づける</li> <li>・タッチされたらすぐにパスすることが有効とわかる</li> <li>空間→時間への意識変化</li> </ul>
12/1	8	2対2	(攻め) ボール保持者・非保持者の動き <ul style="list-style-type: none"> <li>・すばやい移動 (日なたへ)</li> <li>・フェイントして相手を離してから近づいて、パスをもらう</li> <li>・味方へ日なたの場所を教える (合図)</li> <li>・味方が日なたへ行ったらすぐにパスする</li> </ul>
12/12	9	2対2	守り?
12/14	10	2対2	作戦?
12/15	11	総当たり戦	
12/19	12	総当たり戦	
12/21	13	総当たり戦	

※授業のビデオは、給食時間にみんなで見て、動きを考えたり、良い所を見つけたりして、次の授業にいかした。

※通り抜けゲーム



・じゃまゾーンの幅は  
1mくらい。  
・攻める人は、じゃまより1人多く

## 5. 授業の様子

※ワークシートは別紙参照(①②は、ふり返りシートのみなので、載せていません)

※授業のビデオを見てください!

※ふり返りシートは、グループノートを見てください!

## 6. 検討してほしいこと

①攻めの学習・習熟が長くなり、守りの学習になかなか入れなかった。わかっている、すぐにはできない…  
どのタイミングで、守りの学習を入れればよいのか? (続きの指導計画の検討もお願いします)

②ボール非保持者の動きをメインに考えさせたが、試合に活かしている様子がなかなか見られなかった。  
試合での動きは、パスをし合って(コンビネーションを使って?) 時空間を作り出すので、それを学習に組み込め  
たらいいと思うが…どうやったらいいのでしょうか…?

③単純に、時空間の作り方がむずかしい!  
どうやって、子どもたちに気づかせるのか? どこまで教えたらいいいのか?